

令和8年度 施政方針

本年は、60年ぶりとなる^{ひのえうま}丙午の年であります。丙午については、干支の中で最もエネルギーが生まれる年とも言われており、本市のさらなる成長へ向け、市政の^{かじ}舵取りをしてまいりたいと決意を新たにしております。

9月には、日本では32年ぶり3度目となるアジア競技大会、また、国内では初開催となるアジアパラ競技大会が開催されます。本市では、聖火リレーに始まり、ウェーブスタジアム刈谷ではサッカー、ウィングアリーナ刈谷では車いすラグビーが行われます。地域の皆さまと、そしてアジア各国から観戦に訪れる多くの方々と、この大会を盛り上げてまいりたいと考えております。

さて、魅力あふれる公園づくり構想を策定し3年が経過いたします。アジア・アジアパラ競技大会が開催される総合運動公園をはじめ洲原公園、岩ヶ池公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみの5つの公園が持つそれぞれの特徴を生かし、魅力あふれる公園となるよう整備を進めてまいります。

総合運動公園では、Park-PFIにより、エントランスエリアにカフェや3人制のバスケットボールなどができるアーバンスポーツコートのほか、イベントステージなどを整備してまいります。

亀城公園では、^{すみやぐら}石垣隅櫓などを整備することで、本市固有の歴史を次世代に継承するとともに、地域への誇りと愛着の醸成や観光資源としての魅力向上を図ってまいります。

昨年も、お米をはじめとした食料品の物価高騰が続き、家計への負担は依然として重いものとなっております。本市では、水道料金に係る基本料金を昨年12月検針分から免除したほか、1月14日からは市内の参加店舗で利用できるデジタルクーポン「K-pon」を発行するなど、物価高騰対策に、いち早く対応してまいりました。そして、65歳以上の高齢者を対象に1万円分のギフトカードをお送りする、高齢者物価高騰対応生活支援事業のほか、4月から6カ月間の水道基本料金上昇分の減免や、給食の食材費上昇分の公費負担、小中学校の教材費などに対する支援を行うなど、全世代に向け物価高への対応をしてまいりたいと考えております。

新年度も、市民の皆さまが“元気”に、“笑顔”で、未来へ“希望”が持てるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」そして、「日本一安心安全なまち刈谷+にぎわい」の実現を目指してまいります。



刈谷市長 稲垣 武

まちづくりの基本方針

都市基盤

安心して暮らし続けられる
快適なまちづくり

教育文化

生涯にわたって学び地域への
愛着を育むまちづくり

産業環境

人と技術でにぎわいを創り
未来につながるまちづくり

福祉安心

支え合い誰もが安心して
暮らせるまちづくり